

心電図検査

12 誘導安静時心電図

検査方法

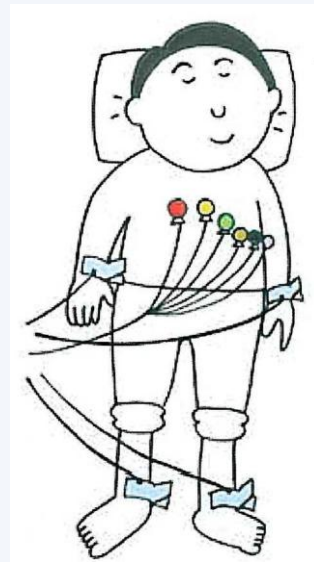
心臓は、全身に血液を送り出すポンプのような役割を果たしています。その際に心臓からでる小さな電位を波形として記録し、不整脈・心臓の肥大・心臓の筋肉の障害・狭心症・心筋梗塞など、心臓の動き、動きに異常がないかを調べる検査です。胸・手首・足首に電極をつけて、心臓からでる電位を記録します。

検査時間

5～10分です。

その他・注意事項

胸の部分と手首、足首を出しやすい服装でご来院ください。なお、胸、手首、足首をアルコール綿で拭いてから電極をつけていきますので、アルコールで肌がかぶれやすい方はあらかじめお申し出下さい。



R-R間隔解析

検査方法

心臓は自律神経の影響を受けており、息を吸うときに脈は速くなり、吐くときに遅くなります。心電図 R-R 分析は、これを利用して、100心拍の心電図の脈の変化を記録し、自律神経機能を調べる検査です。

検査時間

およそ15分です。

その他・注意事項

12 誘導安静時心電図と同様です。

R-R臥位立位

検査方法

R-R間隔解析と同じく心臓への自律神経の影響を調べる検査です。安静時と立位（または座位）で心電図を記録し、R-R間隔差を比較します。

検査時間

およそ15分です。

その他・注意事項

12誘導安静時心電図と同様です。